

近赤外光カメラシステム

仕 様 書

平成31年1月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

I 概要

1 調達物品及び構成内訳

(1) 調達物品

近赤外光カメラシステム 一式

(2) 構成内訳

- | | |
|-----------------|-------|
| ① 近赤外光カメラシステム本体 | 1 台 |
| ② 電動雲台 | 1 台 |
| ③ デジタル映像出力用ケーブル | 1 本 |
| ④ メディカルビデオレコーダー | 1 セット |
| ⑤ カメラ用ドレープ | 3 セット |
| ⑥ リモコン用ドレープ | 1 セット |

2 技術的要件の概要

- (1) 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等(以下「性能等」という。)の要求要件(以下「技術的要件」という。)は以下に示すとおりである。
- (2) 以下に示す要求要件は当センターが必要とする最低限の要求要件を示している。

Ⅱ 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 近赤外光カメラシステム本体

近赤外光カメラシステム本体は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 カメラ部はアームに保持されていること。
- 1-2 カメラ部には近赤外光源と可視光光源が内蔵されていること。
- 1-3 近赤外画像と可視画像を同時に撮影可能なこと。
- 1-4 近赤外画像撮像素子の画素数は 100 万画素以上であること。
- 1-5 可視画像撮像素子の画素数は 100 万画素以上であること。
- 1-6 装置を運用する部屋の照明を完全に消灯しなくとも撮影が行えること。
- 1-7 カメラ部から被写体までの距離が 50 cm 以上でも撮影が行えること。
- 1-8 画像表示は“可視画像”、“近赤外画像”及び“可視＋近赤外画像”の 3 画像が同時に表示されること。
- 1-9 近赤外蛍光発生部の表示色変更機能を有すること。
- 1-10 取り外し可能なリモートコントローラを有すること。
- 1-11 ズーム機能を有し、リモートコントローラから電動でズーム倍率の変更が行えること。
- 1-12 フォーカス調整機能を有し、リモートコントローラから電動でフォーカス調整が行えること。また、ワンタッチでフォーカス調整が可能なオートフォーカス機能を搭載していることが望ましい。
- 1-13 自動露出機能を有し、リモートコントローラから近赤外画像及び可視画像の露出調整が行えること。
- 1-14 ホワイトバランス調整機能を有し、リモートコントローラからホワイトバランスの調整が行えること。
- 1-15 カメラ部は電動雲台に取り付けられており、リモートコントローラからカメラ部の方向を変えることにより視野の変更が行えること。
- 1-16 モニタに撮影した年月日及び時刻が表示されること。
- 1-17 患者 ID 番号、患者名の入力及びこれら患者情報のモニタへの表示が行えること。
- 1-18 映像出力は D V I 出力端子を 2 系統以上有すること。
- 1-19 近赤外光カメラシステム本体の寸法は幅 650 mm／高さ 2000 mm／奥行 900 mm (収納時の寸法、突起物を除く) 以下であること。

2. 周辺機器等

周辺機器等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 電動雲台は、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1-1 リモコン操作でカメラの向きをレンズ中心から前後左右方向にそれぞれ約±15° 傾けることができること。
- 2-2 デジタル映像出力用ケーブルは、以下の要件を満たすこと。
 - 2-2-1 D V I 仕様のケーブルで長さは 10m 以上であること。
- 2-3 メディカルビデオレコーダーは、以下の要件を満たすこと。

- 2-3-1 D V I 入力端子を有し、デジタルハイビジョン映像の録画が行えること。
- 2-3-2 録画用の内蔵ハードディスクは 450 G B 以上であること。また、U S B メモリを挿入して U S B メモリにも録画可能であること。
- 2-3-3 メディカルビデオレコーダー本体前面に液晶モニタを装備し、録画されている映像を随時確認できること。
- 2-3-4 近赤外光カメラシステム本体に接続されたリモートコントローラから、録画／再生の制御が行えること。
- 2-3-5 メディカルビデオレコーダー本体の寸法は幅 250 mm／高さ 250 mm／奥行 90 mm (突起部含まず) であり、近赤外光カメラシステムのラックに収納できること。
- 2-4 カメラ用ドレープを 30 枚付属すること。
- 2-4 リモコン用ドレープを 40 枚付属すること。

Ⅲ. その他

(性能・機能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。

1-2 調達に関連し、当センターの一次側設備以外に必要な場合の電源設備等は全て受注者の負担とする。

1-3 機器導入に必要な搬入・据付・調整は受注者の負担とするものとし、日常業務に支障がないよう、当センター担当者と協議の上、その指示によること。また、機器の搬入・据付時に建物及び物品に損傷が起きた場合、受注者が責任をもって現状復帰すること。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

2-1 本装置の円滑な運用を実現するための点検、調整および技術的なサポートを行える体制を有すること。

2-2 本装置納入後1年間は、通常使用により故障した場合の無償保証に応じること。

3. 職員研修、技術支援

3-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。

3-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

4. 部品の供給

4-1 納入後、当該機器が製造中止になった場合でも6年間は部品の供給を行うこと。

5. 納入期限

平成31年3月29日

6. 設置場所

大阪府中央区大手前3丁目1番69号

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

4階中央手術室

7. その他

7-1 入札機器のうち医薬品医療機器等法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点で同法に定められている製造の承認を得ている物品であること。

7-2 装置の撤去、運搬、据付調整、検査及び職員研修にかかる諸費用は全て受注者の負担とし、装置の運搬、設置及び据付調整は所定の位置に納入期限までに速やかに行うこと。

7-3 本調達物品の納品にあたり知りえた情報等の使用及び第三者への提供並びに情報等の複

写及び複製については厳に禁止する。このことは、業務終了後においても同様とする。

7-4 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。